

各 位

2015年2月18日
株式会社リットーミュージック

殺人・人肉食・人体実験・テロ・拷問・暴動・革命・巨根！
世界の歴史はロックで歌われていた!! 世界初のコンセプトによる音楽書



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古森優）は、100の歴史的エピソードと、それにまつわるロック・ソングを解説した書籍『ロックで学ぶ世界史』を、2015年2月25日に発売します。

本書は、ロック・ミュージシャンの視点から歴史を綴るという世界初のコンセプトによる研究書です。1950年代に誕生したロック・ミュージックは、市井の人々にとっての身近な感心事や、当事者目線での主義主張を歌って来ましたが、本書では100の歴史的エピソードと、それにまつわるロック・ソングを解説します。ロック誕生前の古い年代のエピソードからは欧米の人々にとっての“常識的”な歴史観を伺い知ることができ、また、リアルタイムな問題について歌われた1960年代以降のエピソードでは、当時の人々が事件をどう捉えていたのか、等身大の視点から感じることができます。“この事件はこんな風に捉えられていたのか！”、“この曲はこんなに深い意味があったのか！”といった発見に満ちた、従来の歴史本や音楽書とはまったく違った1冊の登場です。

■ 書籍の詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/books/13317203.html>

■ 書籍

『ロックで学ぶ世界史』

著者：山崎智之

発売：2015年2月25日

定価：(本体1,900円+税)

仕様：A5判／208ページ

発行：リットーミュージック

■ Contents

- 33年 イエス・キリスト磔刑
- 793年 ヴァイキング時代の始まり
- 1206年 ジンギス・カン、モンゴル帝国創設
- 1431年 ジャンヌ・ダルク火刑
- 1480年 スペイン異端審問
- 1614年 エルゼベエト・バートリ死亡
- 1620年 ピルグリム・ファーザーのアメリカ上陸
- 1644年 イギリス／アメリカの魔女狩り
- 1789年 フランス革命
- 1815年 ワーテルローの合戦
- 1839年 クーパーズタウンで野球発明
- 1845年 アイルランド大飢饉
- 1846年 ドナー隊遭難事件
- 1848年 チェロキー族インディアンの強制移住
- 1853年 クリミア戦争
- 1854年 日米和親条約
- 1861年 南北戦争
- 1866年 アメリカ黒人騎兵隊結成
- 1888年 切り裂きジャック事件
- 1893年 リジー・ボードン事件
- 1895年 スタガー・リー・シェルトン事件
- 1900年 ケイシー・ジョーンズ事件
- 1903年 ヴァージニア州列車事故
- 1910年 殺人医師クリッペン事件
- 1911年 トライアングル・シャツウェスト工場火災
- 1912年 タイタニック号沈没
- 1914年 第一次世界大戦勃発
- 1915年 アルメニア人虐殺
- 1916年 怪僧ラスプーチン暗殺
- 1927年 ミシシッピ河の大洪水
- 1929年 世界大恐慌発生
- 1930年 霧社事件

1931年 ダスト・ボウル
1933年 石井 731 部隊の前身、 関東軍防疫部設立
1936年 スペイン内戦
1937年 南京大虐殺
1943年 アウシュヴィッツ収容所の人体実験
1945年 原爆投下
1947年 ブラック・ダリア殺人事件
1952年 水素爆弾の開発
1953年 ポートン・ダウン生物化学兵器研究施設
1957年 スプートニク打ち上げ
1959年 チベット民衆武装蜂起
1960年 ボドム湖殺人事件
1960年 ベトナム戦争
1963年 フィルビー事件
1963年 ハッティ・キャロル殺人事件
1963年 吉展ちゃん事件
1963年 メドガー・エヴァース殺害
1963年 イギリス沼地殺人事件
1963年 ジョン・F・ケネディ大統領暗殺
1965年 ワッツ黒人暴動
1965年 ブラック・パンサー党結成
1966年 ボクサーのハリケーン・カーターによる殺人事件
1966年 テキサス・タワー乱射事件
1966年 ウェールズ・アバファン炭鉱事件
1969年 チャールズ・マンソンのファミリーによる殺人
1969年 北アイルランド紛争
1970年 ケント州立大学射殺事件
1974年 チリのピノチェト独裁政権樹立
1975年 レナード・ペルティエによる警官殺害
1976年 クロディーヌ・ロンジェ事件
1976年 カンボジアのポル・ポト政権樹立
1977年 ゲイリー・ギルモア死刑執行
1977年 北朝鮮による横田めぐみさん拉致
1978年 ユナボマー連続爆破事件
1978年 ガイアナ人民寺院での集団自殺
1979年 16歳少女のサンディエゴ銃乱射
1979年 マーガレット・サッチャー首相就任
1980年 ジョン・レノン射殺
1981年 ヨークシャー・リッパー事件
1981年 ブリクストン黒人暴動
1981年 パリ人肉食事件
1983年 大韓航空機撃墜事件
1986年 サトパル・ラム事件

1987年 バド・ドワイヤー財務官自殺
1988年 テレビ伝道師ジミー・スワガート買春暴露
1989年 ヒルズボローサッカー場暴動
1989年 ベルリンの壁崩壊
1990年 ネルソン・マンデラ釈放
1990年 ブッシュ大統領の新世界秩序
1991年 テキサスのリチャードソン高校自殺
1991年 ジェフリー・ダーマー逮捕
1992年 ロサンゼルス暴動
1993年 ブランチ・ダヴィディアン教団自爆
1993年 トレイシー・ラティマー安楽死
1994年 ルワンダ大虐殺
1995年 地下鉄サリン事件
1998年 ゲイ青年マシュー・シェパード殺害
1998年 ジャック・ケヴォーキアンの自殺装置
1999年 アマドウ・ディアロ射殺
1999年 コロンバイン高校銃乱射
2001年 ドイツ出会い系ゲイ人肉食
2001年 大阪池田小学校無差別殺傷
2001年 アメリカ同時多発テロ
2005年 ロンドン自爆テロ
2005年 ハリケーン・カトリーナ
2008年 チョ・ドゥスンによる女兒レイプ
2011年 東日本大震災
2013年 ボストン・マラソン爆発事件

■ Profile

山崎 智之（やまざき ともゆき）

1970年、東京生まれの音楽ライター。ベルギー、オランダ、チェコスロバキア（当時）、イギリスで育つ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、一般企業勤務を経て、1994年に音楽ライターに。ミュージシャンを中心に700以上のインタビューを行い、雑誌や書籍、CDライナーノーツなどで執筆活動を行う。『ダークサイド・オブ・ロック』『[激重轟音メタル・ディスク・ガイド](#)』『ロック・ムービー・クロニクル』などを総監修・執筆。実用英検1級、TOEIC945点取得。

はじめに

ロックによる人づくり

21世紀、わたし達は激動の時代を生きています。米ソ冷戦の終結によって、アメリカ一極集中の体制が確立されるかと思いきや、世界は地域紛争とテロの時代へと突入してきます。

日本においても第二次世界大戦後の復興から高度成長、バブル経済とその崩壊、そして史上最大の人口急減など、大きなターニングポイントを生きているといえるでしょう。

そんな時代を背に彩つてきたのが、ロック音楽でありました。

1950年代に誕生したロックは、わたし達の文化において重要な位置を占めてきました。アメリカのアビリンジャ、パースナラー、ディック・クラークは「真実な人生のサウンドトラック」と謳われましたが、ロックは若いエンターテインメントとしての本質を維持しながら社会へのメッセージを届えるようになり、1970年代のフォック・バスタード、1980年代のMTV革命によって、わたし達の日常に浸透してきました。

わたし達の住む世界には、各世紀ごとに、時代を導く「ロッキ」が存在し、ま

た。

18世紀はジョージ・ワシントン&トマス・ジェファソンに代表される「政治の世紀」でした。一方、19世紀はカル・マルクス&フリードリヒ・エンゲルスに代表される。思想の世紀」といって出て来ます。

そして20世紀は、ジョン・レノン&ポール・マッカートニーに代表される「文化の世紀」として定義されてきました。

今やロックは娯楽の域を超えて、時代を担う重要な存在であります。現代において、ロックは人間を育成し、教育する義務を持つています。

半世紀以上の蓄積を経て、ロックによる「人づくり」を提唱したいと考えます。わたし達もまた、その教習を受け、次の時代へと生き続けなければなりません。わたし達は本書において、ロックによる「人づくり」を提唱したいと考えます。

もちろん、ロックの原動力である「エイとカベ」とか、殺せ！とか燃やせ！などの要素は非常に重要であります。しかし、そのような享乐的な側面だけでなく、ロックはわたし達をより人間として豊かにしてくれる存在なのです。本書が皆さんの人生をより豊かなものにする一助になることを願っています。

2015年2月

山崎智之

1206年

ジンギスカン、モンゴル帝国創設

蒼き狼と異名をとった蒙古の英雄は、稲妻も雷も恐れさせ、一晩で7人の女を妊娠させた。

1206年にモンゴル帝国を興したのがチンギス・カン（ジンギスカン）だ。その勢力は彼の没後、最盛期は東は高麗、西はヨーロッパ東部まで及ぶ、人類史上最大の帝国となった。日本においては、1189年に没したといわれる源義経が実はモンゴルに渡ってチンギス・カンにたどり着いた、あるいは井上靖の小説「蒼き狼」(1959・1960)などのおかげもあり、高麗など口説かれることも多いが、ヨーロッパにおいては、アジアから武器を携えて攻め込んでくる得体的な侵略者のイメージが強い。

それを象徴する曲が「アイ・出身、その名もジンギスカン」だ。1979年に発売、ヨーロッパで第4位となったこの曲では「稲妻も雷も彼を止められぬ」「晩で7人の女を宿させた」と、その雄略が讃げられている。

6人編成のグループだったジンギスカンだが、「番目立つてたのがルイス・ヘリック、ボジスターだった。ジンギスカン役、おなじく特約モデルを演奏するわけではなく、ステーション・ダナーだったが、「ラッシュ・ユート」のミゲルと中東のスタイルを合体させたオランダ人日本人の抱くチンギス・カンイメージとはかなり異なる。には大きなインパクトがあった。彼は1999年に「アイス・バク」を録音した。

「ジンギスカン」は世界的なヒットを記録。時代も国境も越えて歌い継がれるスタンダードとな



【イアン・メイデン】収録



【ジンギスカン】収録

た、リリース当時にはカワトが日本語カバー、川崎麻世やレザ・ランシング、ヘンク・ラット、カウボーイ・イズらが歌ったバージョンを取ったリバイバル・アルバム「ジンギスカン」も編まれており、S.M.A.PやBerryz工房が歌うことで、若い音楽ファンにも馴染みがある。

ジンギスカン自身も、続くアルバム「めざせ火星」のB面に収録「ロック・ザン」(原題は Rocking Son Of Dschinghis Khan) を収録。また再結成アルバム「レイヴ」(2007/日本未発売)にはチンギスの幼名である「テムギン」や「チンギス・カン」(「カン」は「カサ」の赤い太陽)「イザル」も収録されている。そして「ジンギスカン」リメイクが収録されている。暴風侵襲王というメロディが、チンギス・カンはバウ・メタル・バンドのおおにたりだ。アイアン・メイデン、元々のチンギス・カン、カウボーイ・イズ、フランク・ワイルドは、いずれも「ジンギスカン」という曲を発売している。イギリスのTVコメディ番組「モーター・シティ・オブ・ブレイク」から派生したバンド、バンド・ユースも「ザ・ウリアーズ・オブ・ジンギスカン」を演奏している。なお、トキオ・ブレイドの前身バンドの名前もジンギスカン・バンドだ。

ちなみに英語は「ジンギスカン」と同時に「チンギスカン」と発音される。1990年にアイン・メイデンが10周年を記念して、それまでの全アルバムを再発した際、ドラマの「イン・ザ・サウンド」(「ウエス・III」)が半々収録されたが、これも「チンギスカン」と発音されていた。バンド・ユースも「チンギスカン」としている。チンギスの孫にあたるモンゴル帝国第8代皇帝の名前を冠したアメリカのラップ・グループ「バッド・フレイ・カン」も存在する。彼らの唯一のアルバム「アナザー・レボリューション」(1987)のジャケットには角を生やして半月を持った神秘的な戦士が描かれている。

チンギス・カンの時代、モンゴル民族は漢文字を持たなかつたため、その人物像を我々が知ることは不可能だ。ミュージシャン達は、彼について歌うこととち



▲玉座に鎮座するチンギスカン。

写真出典:「チンギスカンとモンゴル帝国」ジャン・ボレル著・杉山正明監修/創元社/2003年より引用

1480年

スペイン異端審問

私たちの武器は驚愕・恐怖・冷酷・法皇への忠誠

イベリア半島の覇権をキリスト教徒とイスラム教徒が争っていた時代。1469年にカスティール王国のサベラ女王とアラゴン王国のフェルディナンド王子が結婚したことは、キリスト教によるスペイン国内回復運動（レコンキスタ）を大きく前進させることになった。それ以降即位、国王になつたことで、両王国は統合、スペイン帝国が生まれる。

スペイン帝国がたつとは、キリスト教の徹底した国教化だ。それまでイスラム教、あるいはユダヤ教を信じていた人々も、カトリックに改宗することを強られた。

ただ、表面的にはカトリックに改宗しながら密かにイスラム教を信じるキリスト、同じくユダヤ教を信仰するモザレブも多かった。

そんなキリストやモザレブを根絶し、排斥しようとしたのが、異端審問だ。1482年にスペイン大審問に任命されたトマス・デ・トルケダスは、主にユダヤ人を対象に異端狩りを行った。彼らは財産を没収され、火あぶりや水責め、宙吊りなどの拷問にかけられた。トルケダス就任後の10年間で2千人を処刑、2万人のユダヤ人がスペインから亡命したという。

1492年のレコンキスタ完了後、そして1498年のトルケダス死後、異端審問は続いた。自ら編み出した各審問官の裁量に任せていたため、さまざまに創意工夫を凝らした拷問が行われたが、そのイメージを増幅させたのが、エドワード・ラッパの短編小説「闇昏と振子」(1843)だ。銀い刃の付いた振り子や、迫りくる熱した金属製の壁などの大がかりな拷問装置は、我々の知るスペイン異端審問のイメージを決めた。ただ、あまりにイメージが強いゆえに、我々に誤った知識を植え付けたことも事実だった。

大きなイメージをもらったのが、TVシリーズ「空襲モンスター」(1970)だ。マイケル・ベイン演じるヒューズ艦長とこの味は「まさかの時のスペイン宗教裁判」と呼びながら登場、拷問と称して社で脱獄を企てる。世界史の暗黒を背景にする。さらに映画「アル・パチンコ」(1998)で異端審問がユダヤ化されたことで、スペイン異端審問、と聞いただけで笑いのボケに上つてしまつた。

そのせいで、音楽の世界においてスペイン異端審問が異質から扱われることは少なく、多くの場合は比喩として用いられている。

オランダのタル・バンド、エドワード・ラッパの「スパルタン・イン・シジョン」(1995)という曲を代表、「お前のスペイン異端審問でたまたま暗い気持ちを抑える」と、恋愛とをならべている。

フランスのメル・バンド、ナイトウィッチは、「闇昏と振子 The Pit And The Pendulum」をモチーフにした「トワット・ナンド・サ・ペンデュラム」(2000)という14分の大曲を書き、「刃が彼の亡霊を」[「闇昏に括り付けられ」]という歌詞があるが、異端審問題材としたものではない。

イギリスのドゥーム・メタル・バンド、エレクトリック・ウザードは「トルケダ」(2000)を書いている。この歌詞は男女間のサド・ドムンに近い関係の拷問に喩えたものだ。タイトルはイタリアのラウラ・ティ(口ググ漫画「トルケダ」)の続編の意味合いがあり、また同時にインク・ライターのジネス・ホーンが1977年生まれたという点も関係しているのだという。

イギリスのジネス・ホーン、コリアン・ワグナー(1997)には「イストラシヨ」(1997)というイストラシヨ曲があるが、ケイリー・ミノーの「スハラニ・アイト」のギターがあることから、異端審問という題が付けられた。このように婉曲的に描かれることが多し、スペイン異端審問だが、その雰囲気を入れたゴブレット・アルバムも聴きたいものである。



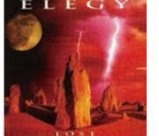
▲異端審問の情景。右中央には裸にされ、尖刺に刺される人物が描かれている。

写真出典：『改訂新版国成スペインの歴史』成川洋行/河出書房新社/1999年より引用



「今日の魔女信仰」[トルメタダ]収録

◎エレクトリック・ウザード



「ロスト」[スロニク・ウイン・イグジション]収録

◎エドワード

1644年

イギリス／アメリカの魔女狩り

女はサバトに馬を駆った。そして悪魔と情交した。奴は魔女なのだ。我は魔女狩り将軍

永井隆の漫画「ワイルド」で飛鳥が語る魔女狩りの描写は、鮮烈な衝撃をもたらした。彼曰く、16世紀のヨーロッパは900万人の無実の人間が、針を刺され、手足をばらばらに水中に投げ込まれるなど、惨殺されたという。ある日突然、いわぬい嫌疑をかけられて拷問されるという理不尽な恐怖は、少年少女たちは暗黒の中を震え、眠れない夜を過ごす。

近年の研究は、実際に魔女裁判にかけられ、生命を失ったのは4万人程度といわれているが、それでも多くの一般市民が前日までは親しかた隣人たちに狩られ、爪を剥がれ、皮膚を削られ、火あぶりになったことは事実。

中世末期から世における魔女狩りがヨーロッパ全土に広まる背景としては、キリスト教会による異端審問が民間に波及して、民俗信仰と結びついたことが挙げられるが、「説によると、ライオンが麦角菌を汚染させたことにより、幻覚状態が日常化したことが理由ともいわれる。麦角菌の成分であるセケク酸(人工的に合成された)が、LSDである。村の女たちは全裸にしてホウキに跨り、それを見た村人は彼女たちを飛たいと思った。狩られる側も狩られる側もトリップして狂態で、狂気の殺戮が行われたのだ。

月出ない夜、松明手に進む巨悪団のイメージは、ラッシュの「魔女狩り」(1981)で歌われる。この曲の歌詞は、現代における種々宗教差別を基づくヘイトクライムも思わせるものだ。

ヨーロッパの魔女狩り(悪名轟かせたのが、1644年から1646年にかけて3000人の魔女を処刑したマニエ・ホウキス。清教徒革命の激化する社会情勢に乗じて、彼はウィッチファインダー・ジェネラル、魔女狩り将軍。を名乗り、イングランドを渡り歩いて魔女狩りを請け負っていた。処刑にあつたその手数を数えるのみならず、彼は魔女嫌疑をかけられ、ために地元有力者から恨まられる、女性接待も受けるなどした。

魔女狩り将軍。はイギリスにおいて文化即ちイデオロギ、ポスター・チャップマンのTVCMに彼をイメージしたキャラクターが登場する。お茶の間も浸透している。1968年に放映された映画「ワッチャー」(1968)でも制作された「ワッチャー」(「ワッチャー」)のナレーションでも同名、デュー・パウルは「ワッチャー・ジェネラル」(2013)という曲を発表している。

1970年代後半にはイギリスから、その名もウィッチファインダー・ジェネラルというバンドがデビューしており、アルバム「レス・ペナルティ」(1982)のジャケットでは口を露わにした血まみれの裸女、ヌード・モデルのジョアン・レイサムが墓場で拷問されている。この曲は悪魔を管理する教会の許可を得ず、ゲリラ的に撮影されたもので、付近住民からクレームが上がったという。

ドゥーム・メタル・バンド、カネドールの曲「ホウキス」もまた、彼を題材としている。この曲のビデオは映画「ウィッチファインダー・ジェネラル」のイメージを彷彿とさせる。この曲のビデオは映画「ウィッチファインダー・ジェネラル」のイメージを彷彿とさせる。

なお、アメリカのサウスカロライナ州で1992年に行われた魔女裁判の原因も、麦角菌による幻覚剤であったという説が存在する。ロフ・ソビエは「アメリカン・ウッチ」(2006)での事件を取り上げ、絞首刑となつた20人の魔女に祈りを捧げた。彼はまた、自らを監督する映画「ロード・トゥ・セイラム」(2013)でもセイラム魔女裁判を重要なキートンとして用いている。

ヨーロッパの魔女狩り(悪名轟かせたのが、1644年から1646年にかけて3000人の魔女を処刑したマニエ・ホウキス。清教徒革命の激化する社会情勢に乗じて、彼はウィッチファインダー・ジェネラル、魔女狩り将軍。を名乗り、イングランドを渡り歩いて魔女狩りを請け負っていた。処刑にあつたその手数を数えるのみならず、彼は魔女嫌疑をかけられ、ために地元有力者から恨まられる、女性接待も受けるなどした。

魔女狩り将軍。はイギリスにおいて文化即ちイデオロギ、ポスター・チャップマンのTVCMに彼をイメージしたキャラクターが登場する。お茶の間も浸透している。1968年に放映された映画「ワッチャー」(1968)でも制作された「ワッチャー」(「ワッチャー」)のナレーションでも同名、デュー・パウルは「ワッチャー・ジェネラル」(2013)という曲を発表している。

1970年代後半にはイギリスから、その名もウィッチファインダー・ジェネラルというバンドがデビューしており、アルバム「レス・ペナルティ」(1982)のジャケットでは口を露わにした血まみれの裸女、ヌード・モデルのジョアン・レイサムが墓場で拷問されている。この曲は悪魔を管理する教会の許可を得ず、ゲリラ的に撮影されたもので、付近住民からクレームが上がったという。

ドゥーム・メタル・バンド、カネドールの曲「ホウキス」もまた、彼を題材としている。この曲のビデオは映画「ウィッチファインダー・ジェネラル」のイメージを彷彿とさせる。この曲のビデオは映画「ウィッチファインダー・ジェネラル」のイメージを彷彿とさせる。

なお、アメリカのサウスカロライナ州で1992年に行われた魔女裁判の原因も、麦角菌による幻覚剤であったという説が存在する。ロフ・ソビエは「アメリカン・ウッチ」(2006)での事件を取り上げ、絞首刑となつた20人の魔女に祈りを捧げた。彼はまた、自らを監督する映画「ロード・トゥ・セイラム」(2013)でもセイラム魔女裁判を重要なキートンとして用いている。



▲マシュー・ホプキンスによる魔女発見のための手引(1647年)。

写真出典：『ビジュアル・ヒストリー・アメリカ植民地時代から覇権国家の未来まで』アレン・ウィンスタイン、デイヴィッド・ルーペル著/絶智出版/東洋館刊/2001年より引用



「レス・ペナルティ」

◎ウィッチファインダー・ジェネラル



「ルーシング・ビッチャー」[魔女狩り]収録

◎ラッシュ

1845年

アイルランド大飢饉

神がジャガイモをもたらしたらし、イギリス人が飢饉をもたらした。 アイルランドは今も復興中

欧米人はジャガイモを食べ、日本人が米を食べる以上に、とにかくジャガイモが食卓に並ぶ。ライドポトやランドポト、スープ、シチュー、コロッケなど、ヨーロッパや北米において、ジャガイモは主食のひとつである。

実はジャガイモの原産地は南米アンデス山脈の高地であり、ヨーロッパも北米でもないので、もはや彼らの食生活に欠かせない存在なのだ。ペルギーではブレイン・フライ（ペルギー人は「ブライム・フライ」と呼ぶ）を世界遺産にしようという動きもあるほど。

そのジャガイモの不作のせいで、国家レベルでの危機が訪れたのが、1845年から1849年にかけてのアイルランド大飢饉だ。当時アイルランドの人口は約800万人だったが、ジャガイモ疫病による枯死100万人が餓死。それに加えジャガイモ輸出産業が壊滅し、とらえ、100万人がイギリスや国外に移住することになった。飢饉が終った後も人口は激減し、1910年には440万人にまで減少。独自のケルト文化やゲール語もまた、失われていくことになった。

ジャガイモの不作が国家の存続に関わる大事件となったのは、歴史的にも珍しいことだ。この歴史上の重要事件を、アイルランドのミュージシャンはさまざまな視点から描写してきた。世界規模の音楽市場で初め成功を収めたビッグ・グループであるシン・リリィは、アルバム『サキ師ジョー』（1976）収録の「フルズ・ゴールド」で、大飢饉と黒死病から逃れた人々が新しい人生を希望を求めて新天地アメリカに向かうが、それは容易に手に入るとの出来ない、愚者の黄金に過ぎないと歌っている。

1845年当時アイルランドはイギリスの植民地だったが、これは大打撃を被ったのは、イギリス政府による貧民の多量輸出（大量虐殺）だ。アイルランドでは1740年から1741年にかけても冷害のせいで飢饉が起こるが、この時は作物の輸出をストップ、国内向けの食料を確保している。だが、1845年の大飢饉ではそれが許されず、アイルランドは輸出を続けなければならなかった。19世紀アイルランドのナショナル・リズム活動家、ラナランは「神がジャガイモをもたらした、イギリス人が飢饉をたらした」といふ言葉を残している。

ダブリン郊外で生まれたニード・ロブソンが『ソウパ・ザ・ソウ』（1994）に収録した「フレイム」は、そんな視点から描かれた曲だ。ここでニードは歌うのでなく「飢饉なんてものはなかった」と語りかけてくる。アイルランド人ジャガイモが食卓を占めたのは、時代を超えて切実に迫ってくる。

テラワリ出身のウォーカー・クリスト、ブライアン・ヤング・パーリーを中心とするバンド「メタル・バッド・ワン・ミッド・サイレス」は、アルバム『ハイ・ナウ・セイ・ド・イター』（2000）で、「1845」といふ、直球を取り込めるタイトルの曲を収録している。「自分はアイルランド人である前地球人、地球の抱える問題について歌ってみたい」と語るソウは、この歌詞には一般的な戦争や暴力、憎しみなどを歌っているが、あるアイルランドの歴史における重要な年号を曲のタイトルにすることで、この事件を世界中の人に知ってもらいたいと語っていた。それはこの曲によってある程度、功を奏したといえるだろう。

ジャガイモ大飢饉はアイルランドの歴史に大きな傷跡を残すことになった。20世紀の政府不安のせいもあって、人口は増えなくなると、2011年現在の総人口は約450万人。飢饉前の人口に戻る日は、はたして来るのだろうか。170年という月日が経ったが、アイルランド復興はまだ成し遂げられていない。



『ハイ・ナウ・セイ・ド・イター』
[1845]収録
◎ワン・ミニット・サイレンス



『サキ師ジョー』
『フルズ・ゴールド』収録
◎シン・リリィ



資料B 移入したアイルランド移民の現代の像 ダブリン

▲現在もアイルランド人は飢饉を忘れていない。ダブリンの広場にはアイルランド大飢饉を記念する彫像が設置されている。

写真出典『イギリスの歴史』(岩波書店)『ミカエラ・ワイラー、ジェイミー・バイロン、クリストファー・ガルズン著、前川一郎訳、明石書店、2012年5月刊』

1914年

第一次世界大戦勃発

西部戦線異状なし。 断崖の中で兵士たちはシエルシヨック(PTSD)に悩まれている

第一次世界大戦は名前のとおり、世界の多くの国が参戦した戦争だった。ヨーロッパを中心に、中東やアフリカにも戦線は拡大。アメリカや日本も直接的に関わり、死者数は1,500万人という膨大なものとなった。清で発生した太平天国の乱(1850~1864)の2千万人とは及ばないものの、凄まじい数字だ。

戦車、飛行機、機関銃などの新兵種は、より、効率的に人間を殺傷することを可能にした。射撃距離や範囲の大幅な向上により、フランスやドイツでは塹壕戦が戦局を左右するようになる。兵士たちは塹壕の中で死と直面。戦後、シエルシヨック(心的外傷後ストレス障害、PTSD)が広く知られるようになった。

第一次世界大戦は、文学作品で戦争の哀しみや恐怖が描写されるようになった転換点でもあった。トルクの小説『西線無異状なし』(1929)は、一兵卒の死など、異状なしの戦線だという虚構をタイトルにしている。

ダルトン・トラボの『フョー』は戦場へ行った(1939)もまた、第一次大戦の悲劇を描いた小説だ。主人公が戦争で手足と視力、聴力を失った。この物語は1971年、トラボ自身の監督で映画化されたが、本作がインスピレーションを得たのがメタリカの『ワン』(1988)だ。この歌詞はほぼそのままをなしたもので、ビデオでは映画からのシーンも使われている。なお、『フョー』は戦場へ行ったに先駆けて、江戸川乱歩が短編『羊虫』(1929)で戦争で

手足を失った軍人を主人公としている。山上たつひの漫画『光る風』(1970)でも四肢欠損の傷痍軍人が器用に女性を想うとす。

フランスの作家、キアリア監督の比較的初期作にあたる映画『突撃』(1957)も、フランスの塹壕戦をストーリーの軸にしている。フランス軍の多量な犠牲、連年の苦しみで兵士たちが死にたいが、自軍の陣営にある情婦でドイツ人の女捕虜をメタリコに上げて、「なんぞか歌え」と歌わせる。彼女がドイツ民謡「ワグネル・ワグネル」を歌い出すと、野次を飛ばす男たちが泣きだした。全員でロデオを歌うのだ。この女捕虜を演じたクリスチナ・ハランキエが初めて、わざわざ離婚して再婚したのは有名な話だ。戦いに疲れた兵士たちが歌を口ずさむシチュエーションは、『フル・メタル・サバット』(1987)で再現された(こちらは「ミキ・マウス・ママー」が歌われる)。

1916年のメタの戦いはフランスとドイツの陣営あわせて70万人が死亡、同年のソムの戦いでは死者数は100万人を上回った。特に2月21日から12月18日にかけて行われたメタルの戦いは狭い地域で戦いが長期化。戦場のあちこちで死体が腐臭を放ち、春先の雨で足下が泥沼化して、両軍ともに、地獄と形容する惨状だった。ゴッレのデスマルバッド、ポイント・エジルの可成り、2000と、という歌の作品は、この地獄絵図を音楽で表現しようとする試みだった。

なお1902年に日英同盟を締結していたため、イギリス・フランス・アメリカ・ロシアの連合軍陣営の一つとなった日本帝国は、ドイツが租借していた中国の山東省、遼東、青島を陥落させた。さつぱりヨーロッパ戦線にも派兵しており、靖国神社には第一次大戦で亡くなった4,850人の死者が祀られている。

日本とドイツは敵同士となり、数多くのドイツ兵が捕虜として日本に連れてこられた。1918年、徳島の教養所が演劇したが、日本での『第9交響曲』初演は、彼らにはまだ、地元住民ヒルバクやクレーンを紹介し、子供たちにサカサカを教えるほどだ。そんな心温まる交流が契機となつたのは不明だが、次の大戦では、日本とドイツはタッグを組むことになる。



『ヴェルダン1916』
◎ニュー・クリフト



『メタル・ジュスティス』
[ワン]収録
◎メタリカ



▲第一次世界大戦の主要な戦場のひとつとなつたヴェルダンの戦場。

写真出典『国史』(岩波書店)『河川書房新社、2011年5月刊』

1916年

怪僧ラスプーチン暗殺

33センチの巨根とカリスマでロマノフ王朝を手玉にとったロシア最高のラウ・マシーン

1978年、ヨロバをラウ・マシンの幽霊が徘徊した。未曾有のアイズ・ブームが世界をまた典で踊る中、各国のチャートを席巻したのがドイツのグループ、ボニーMの「怪僧ラスプーチン」だ。

「ラウ・マシーン」という単純明快なラウが忘れられない曲だが、その背景は決してシラブルはなかった。彼らのレコード・ジャケットには褐色の土の男性シガ、ボニーMが写っていたが、実は彼はレディゲに切開わつていながら、ボニーMとはプロデュース、フラン・フリーが生み出したコンセプトであり、ヴォーカルもフリー自身が歌ったものだった。そのときにボニーMは実体を持たないグループで、代表曲といえる「怪僧ラスプーチン」もテス・コで踊るために作られるワルヴィン・ンタケすれボア曲だが、その歌詞は意外なほど史実にのっとりだ。

グリゴリー・ラスプーチンが歴史に登場するのはロシア帝国末期、1904年のことだ。彼は次と病人を治療。神の人と呼ばれた。その評判は時の皇帝ニコライ二世とレクサンドラ皇后の耳に入り、皇太子の血友病の治療を依頼される。どのような手段を使ったのか、皇太子は回復に向かい、ラスプーチンは皇族の信頼を得た。特に皇后から寵愛を受けたため、二人の間に肉休関係があるのでは噂された。ボニーMは「ラウ・マシーン／ロシア皇妃の愛人」と歌っているが、この歌詞はそんな噂を踏まえたものだ。



「ラウ・マシーン」



「ナイトライト・トゥー・ワッチ」収録「怪僧ラスプーチン」収録

さらさら「ラウ」は「ラウ・マシーン」ロシア最高のワルヴィン」と続く。ここは彼が宮中の貴婦人から絶大な支持を得たのみならず、持ち前の巨根と精力で虜にしたことを歌っている。彼を内情に秘め、連日連夜相手を取り替えるから動機は彼の能力に惹かれたといふ。

ラスプーチンの宮廷人形の介入や政策への助言に危機感を覚えた皇族たちは、彼の暗殺計画を実行に移す。「奴らは彼のワイに毒を流した。彼を飲んだ。天と地とを言いつくす。彼の命を奪おう」として彼を撃ち殺した」という歌詞が、史実に1916年12月29日、ニコライ二世は晩餐会にラスプーチンを招くが、致死量の青酸カリを混ぜたワインを飲んでも口にして、さらに養後後頭部を撃つが飛びかつかうたため、大勢銃撃でめった打ち、銃撃でケルル巻きにしてあげ、極楽のウエア河に投げ込んだ。2日後、死体は発見されたが、肺に水が入っていた。死因は溺死とされる。そのわずか2ヶ月後、ロシア革命が勃発。ニコライ二世は皇位を追われ、1918年7月17日に処刑された。その族も首射殺され、ロマノフ王朝は滅亡する。

今なお謎に満ちた存在である怪僧に魅了されたミュージシャンは多く、ボニーMは「ラウ・マシーン」(1978)、「ラスプーチン」(1979)、「ラスプーチン」(2010)、「ラスプーチン」(2011)という曲を演奏している。タイ・オナー・ネガティブの「ラウ・マシーン」(2002)やスウェーデンの「サ・ラ・マシーン」(1996)シングルはジャケット・アートにラスプーチンが登場するし、オーストリアの「ラスプーチン」アルバムを作る時だった(実現はしなかった)。

1916年の暗殺時、彼の penis が切断され持ち去られたという噂は、長年語られてきた。ロシアの亡命貴族から1977年、アメリカのレーダーが買収し取ったペニスに調査の結果、実は「ナード」と判明した。だが2004年、サクトデルクに創設されたロシア博物館の目玉として、33センチに及ぶホルリリだけの男根が、ラスプーチンのペニスとして公開された。はたしてそれが、ロシアを革命に追いやる男根ののだろうか。



女性信者たちから熱烈な支持を受けていたこと知られる。

写真出典:『ロシアの歴史』栗生沢良夫／河出書房新社、2010年より引用

1991年

ジェフリー・ダーマー逮捕

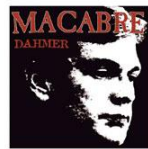
アパートメント213。冷蔵庫には頭部、鍋の中には陰茎、部屋中に人骨と肉片があった

20世紀以降の犯罪史において目立っているのは、殺人者モンスター化。人を殺す行為そのものを目的とする連続殺人が、世界各地で行われるようになった。それまで殺人の多くは利害関係や怨恨が動機だった。アーサー・コン・ドイルの小説でも、シャーロック・ホームズが変態性殺人鬼と対決するとはなかった。1988年の切り裂きヤク事件がセシル・シヨナルに報じられたのは、当時時流が珍しかつたからだった。20世紀以降、事情は変わっていく。殺人鬼は殺したから、犯したから、食いたから殺すのだ。

これまでも多くの殺人セブが生れた。デラセドの吸血鬼ベーター・キルグ、「サイコ」悪魔のいけにえ「巫たちの怨」にも影響を与えたデ・ケル、ロリンダ・ストニスも「ラッド・ナイト・シフラー」で歌った。ボニーMの連続殺人「アルバート・ニヤルウ、地獄の進化師」。

ジョー・ウエー・ゲート、ソ連の赤い切り裂き魔、アントレイ・ナカチロなどの大量殺人はほとんどロク・スターに近い信奉者を生み出した。日本のチャート・オブ・ザ・イヤールやアメリカのカマールを、歌謡の大半年殺人鬼ホムというロク・ビッドも作られた。

そんな連続殺人鬼の中でも、ひきまわ悪魔高のがジェフリー・ダーマーだ。彼は1978年、高校卒業後最初の殺人を行い、1991年に逮捕されるまで、ゲイバーなどで知り合った少なくとも17人の男性を殺害。屍骸を1年後、ボロロイ写真を持ってから解体、鍋で煮込んで食たりしていた。彼はまた生きて人間の頭部に下りて穴を開け、脳に塩酸を流して人間クダな作品に仕上げていた。



「ダーマー」



「マカブル」

ピを作る実験も行った。彼の住んでいたルウォーキーのオックスフォード・アパート213号室を警察が家宅捜索したとき、冷蔵庫には黒人男性の頭部と量の内、部屋あちこちに頭蓋骨や手首、陰茎などの人体の部分があった。

スレーターの「213」(1994)は彼の「アパート」の部屋番号をタイトルにしているが、解剖の甘美な興奮、オルガスムのような速度で血が立(と)その精神状態を再現しようとしている。ソルラーイはものものの「ジェフリー・ダーマー」(2010)でダーマーを「肉食の達人、陰茎の達人」と、まるで讃えているようである。また、カナダにはフランス語で歌う「ダーマー」という名前のパーティー・ウィー・イェリス・ビッドも作られた。

シカゴのメル・バンド、マカブルは2000年にダーマーの人生を追ったアルバム「ダーマー」を発表している。グロブ描写満載の歌詞は「ジェフリー・ダーマーとチロレット上場秘密」「アタタタ」「マクナルドのバロイ」などエピソードが散りばめられたこの作品は、プロデューサーにクインシー・ジャクソンXなどを緻密な作りで知られる「ルカカン」を得て、目まぐるしく切り替わる作品に仕上がっている。

バル・シヤの「ダーティー・フンズ」(1992)はアー・バス連転手のグルム料理長「ダーマー」がケルビを切り刻んで肉を食べている歌。フンズは曲調の曲は「ア・トク」で描くが、エ・ウ・ウ・ウは「この曲を原作にしてロク・ンビに映画化してみたい」と面している。

ケシは「カニバル」(2010)で自分が男を食ひ尽くす。食人鬼。だと歌っており、「ジェフリー・ダーマー」(2010)で「彼女は食人鬼」という節もある。ダーマーは「アタタタ」(2010)で「彼女は食人鬼」と歌うなど、ダーマーは「ジェフリー・ダーマー」の恋愛キーワードとしても浸透している。

ダーマー自身1999年、刑務所内で殺害された。1999年にはロビン・ピアードイス・ガラワイトが少なくとも138人の少年を強姦、殺人・解体(30人以上の可能性)するなど、快楽殺人鬼は後を絶たない。



ジェフリー・ダーマー(左)が刑務所で撮影した父親との写真。父親が逮捕への陰謀のために書いた本より。

写真出典:『息子ジェフリー・ダーマーと父のロビン・ウィリアムズ』小村宏明訳／早川書房、1996年より引用

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング □設立:1978年4月10日 □資本金:1億 6,900万円 □決算期:3月31日 □従業員数:93名(2014年3月31日現在) □代表取締役:古森優 □事業内容:音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 営業統轄部出版営業部 宣伝広報 市原
Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp